



2009年9月初秋号
秋田高校東京同窓会
 〒106-0032 港区六本木 3-1-26 柳ビル 9F
 鎌田会計事務所内
 TEL 03-5545-7775 FAX 03-5545-0087
 URL <http://www.shuko-ob.net/>

題字 布田祐五郎様

集まってけれ。しゅうこう仲間。おもしろどー



秋田高校東京同窓会主催
 在京秋田県高等学校同窓会連合会(秋高連) 共催
 秋田県酒造組合 協力

美しい秋田

秋田蘭画・秋田弁・地酒・スイーツ

小田野直武筆「不忍池図」絹本着色、一額、秋田県立近代美術館、重要文化財

なんとですか。まめえですか。この変動の時代——。わが故郷、秋田の収穫の季節(とき)。『美“おい”しい秋田』“秋田発見まるごと、元気だす”の10.24秋まつりをみんなで考えます。

あの『秋田蘭画世界——今橋理子教授の講演』と語り部、秋田弁民話の第1部につづき、第2部は地酒、スイーツの食、“秋田寮歌祭”のような、懐かしの『校歌歌合戦』、テーブル対抗『秋田クイズ』などもある。そしてみんなで「ふるさと納税にとりくもう！」とのアピールも……。

みんな各校、集まってけれ。待ってるす、楽しみに。きてたんせ。きてけれ。頼むす。

プロフィール 今橋 理子(いまはし りこ)



1964年生まれ。東京都出身。学習院女子大教授。
 1987年学習院大学大学院博士後期課程修了。1995年博士論文『江戸の花鳥画』でサントリー学芸賞、芸術選奨新人賞受賞。秋田蘭画の研究から江戸時代花鳥画、動物画などの実証研究。
 著者『江戸絵画と文学——〈描写〉と〈ことば〉の江戸文化史』(東大出版会1999)『江戸の動物画——近代美術と文化の考古学』(東大出版会2004)など

- とき** 09年10月24日(土)
13時30分受付 14時開会 17時終了
第I部(14時～15時)
第II部(15時～17時)
- ところ** 日本青年館(信濃町)鶴の間、
TEL 03(3475)2556
〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町7番1号
JR千駄ヶ谷駅、信濃町駅より徒歩9分
地下鉄銀座線外苑前駅より徒歩7分
- 会費** 4800円(飲食、会場費含め・学生半額)
- 内容** 開会挨拶・橋本五郎(秋田高校東京同窓会会長)

第I部 語り部民話と講演

- ☆秋田のむかしっこ『正直夫婦の馬』
語り部 中川愛子さん
湯沢商工高出身、H元年より地域の学校、図書館、福祉施設でボランティア秋田弁語りを行う。埼玉県春日部市在住
- ☆『再発見・秋田蘭画をめぐる偉人たち』
講演 今橋理子 学習院女子大教授
『秋田蘭画の近代——小野田直武「不忍池図」を読む』(東大出版会2009年)著者

- 第II部 挨拶・友成穂秀**(在京秋田県高等学校同窓会連合会会長)
本場の地酒、甘いスイーツ、いぶりがっこ、対抗校歌合戦、『秋田クイズ—賞品有』記念撮影、ふるさと納税アピールなどいっぱい。

10月24日。ところは日本青年館。同期の顔。美(おい)しい秋田。秋まつり。
 さあ歌うべし「天上はるかに大平山の♪」まってるす。

秋田高校 東京同窓会 平成21年度定期総会開催

平成21年5月27日(水) 定例の東京同窓会の総会が新宿ハイアットリージェンシーホテルにて開催されました。当日は母校より菊谷校長と豊口同窓会長、仙波事務局長にご臨席頂きました。特に豊口祐一会長は新会長就任後始めての東京同窓会へのご参加で大変感心されておりました。

総会の開始にあたり橋本五郎会長より挨拶があり「昨今の不況の中で、特に地方の疲弊は目を覆う



ゲストスピーチ

気象予報士から見たテレビの裏側

NHK 気象キャスター 高田 斉氏

現在は、NHK総合テレビの気象情報、土曜、日曜の昼の時間を担当しています。視聴率の高い時間です。NHK一筋にやってきた気象キャスターの苦労話を聞いて下さい。

気象キャスターは華やかな仕事と思われ勝ちですが、見るとやるとは大違い、むしろ大変な仕事です。気象はテレビ局では報道局に属し、局の中でも地味な方です。毎日同じ時間に出るので顔は覚えられます。突然電車の中で握手を求められたりすることがよくあります。

仕事で一番難しいところは時間に関するところ、番組は大体遅れ気味に進みしむよせを被るのは最後の天気の間、2、3分の持ち時間のうちから10秒、15秒と減らされる、大したことないとお思いでしょうが、大変きつい、考え考えしながらまとめなければいけない

ばかりであり、東京同窓会としても組織力を発揮して故郷・秋田のために何らかの行動を起していきたい。」との提案がなされました。

懇親会の中でも多くの会員から賛同

の声が上がり秋高連や他団体とも協力

して具体策を検討することとしました。

つづいて幹事長より平成21年度の事業

計画案が提起されました。今年の重点

(1)会報(呼称を募集中)の積極的活用

をはかる。年2回発行とし、全会員

へ送付する。

(2)1月に「学生と社会人OBとの交流会」(就職懇談会)を行なう。ひき

つづき同日に賀詞交歓会を行い若手

会員を動員する。

(3)同窓会内外諸団体との協力関係をす

すめ、イベントを検討する。

その後、21年度予算案、新役員名簿

が提案され、会場の拍手をもって承認

されました。

懇親会では現役学生の三浦君(H21

卒)、コロンビア在住の草野君(H10卒)

から若い根っこ会の加藤さん(S21

皆さんに不安を与えないよう平気な顔

をしてやる、そんな感じです。

人間ですから失敗もあります。画

面が映っているのにキャスターがいな

い、デスクからスタジオまで50メー

トルを脱走のごとく走って、カメラの

前に立つが、息があがっている、もう

何を話しているかも分からない、大目

玉を喰らいました。時間の読み違いも

よくあります。大晦日の日に、完全に

1分間違いをして、延々としゃべって

いた、そのうち周りがざわざわし始め

て、それでも気がつかずに話している

と、さすがに残り30秒のところであナ

ウンサーが割り込んできて、「もう終

りです。」ということがあります。パ

ネル上で高気圧を指さすとしたら、そ

れが出ていない、前日の予報図だった

そういう時はその画面はさっさと消し

てもらい、次の話題に移ってしまう。今

卒)まで60年以上の時代差を乗り越え
た多くの同窓生の熱気あふれる秋高魂
のスピーチに感動の声がしきりでした。
名残惜しい閉会でしたが次回はより
多くの同窓会員の活躍の声が聞かれる
よう呼びかけていきたいと思ひます。

総会に先立ち恒例のゲストスピーチ
は、NHKの天気予報でお馴染みの高
田斉氏による「気象予報士から見たテ
レビの裏側」でした。テレビそのまま
の巧妙な語り口で会場を沸かせました。
内容につきましては詳細を左上で報告
します。以上

県人は我慢強いですから、耐えられる
のかもしれない。

一方で、天気予報は子供からお年寄
りまで全ての人が対象であるため、皆
をテレビ画面に釘付けにするための
様々な工夫や小道具が必要です。子供
にも分かり易く、次の日が楽しみにな
り、興味をもって見てもらえる様努め
ています。

予報は年々変わってきています。皆
さんの要望によるものです。兎に角ホ
イントで自分の頭の上がどうなるかを
知れたがる。日本の天気予報は100
年、数値予報が始まって数十年の歴史
があるが、まだまだ分からないことだ
らけ、特に日本は地形が複雑で難し
い、最近では環境が変わって一段と難
くなっている。それに答えるべく、気
象庁もコンピュータの開発、機器の開
発で対応しています。全国の予報と地
元の予報との関連、特に地元で伝承さ
れている情報を利用して極地予報をす
ることが今後重要と考えています。こ
れからも暖かく見守って下さい。

橋本五郎の AKITA TALK



「人間、六十歳を過ぎたら如何に世のため人のために尽くせるかを考えるべきです。家庭の反対がいかに強くとも、時に健康を度外視してでも、男としてやらなければならないことがあるのです」

ある県の知事選に立候補するかどうかで迷っていた人に、その人の主治医が熱情を込めて説いたそうです。健康を心配するはずの医師が、立つべしと督励したということです。

「自分の知人に心臓病の人がいる。彼はベトナムに学校を造りたいと思っている。このままでは行けない。そこで彼は心臓の手術を受けることにした。よく未知の世界に足を突っ込み、失敗したらどうしよう。それまでの人生がファイになるのではないかと心配する人がいる。しかし、失敗したっていいじゃないか。自分のためというところでなければ、失敗したからといって、それまでの歩みが否定されるわけではないのです」

結局、さまざまな理由から、立候補はしなかったそうですが、この医師の言葉は心に深く刻まれたといいます。誰かのために何が出来るだろうか。自分が役に立てることはあるだろうか。これからはそう自らに問わなければいけないと、心から思ったというのです。

そうです。「ふるさと納税」という方法もあるでしょう。できるだけふるさと納税の物産を食したり、紹介したりするということもあるでしょう。企業誘致の手助けということもあるでしょう。自分なりにできることを少しずつ実現できたらと思うのです。

09年度秋田高校東京同窓会定期総会フォトギャラリー



員と 会ひと

今後の同窓会活動について ご提案をお願いします

☆既に実施済みかと思いますが、各年次の東京同期会同士の結びつき強化の仕組みが本会の拡充につながると思っています。(谷口)

☆1秋田県、各市町村の現状、事業展開の情報に接することができるようPR用ポスターの展示、パンフの配布を手配されてはいかがが。2都内の物産サテライト近くのホテルを会場に選ぶことも考えてほしい。

3郷里の映像、人々の生の声を集めて、聞かせて欲しい。お祭り等のDVDは如何一(伊藤)

☆各年次の同期会活動の紹介
有志でのサークル活動(音楽、合唱、ゴルフ、飲み会、料理等)が存在するのであれば、その紹介及び活動の発展

各方面のビジネスに関わっている方から、身近な話題について興味を引くレクチャー(館山)

☆経済恐慌で秋田県もかなりの影響を受けているようで、秋田駅周辺の活気は全く感じられず、今後を案じるとともに、なんとかしなければと思うのは私だけではないはず。

秋田高校同窓会内に「秋田県の産業と地域住民の活性化推進事業部」都心と秋田をつなぐ役割を担

う〜(必要に応じ、NPO法人として?)を設立しましょう!

有能で、これまで社会のトップで活躍されてきた先輩方で、その能力や経験を、同じ志を持って社会貢献して下さる方がたくさんいるように思います。秋田高校同窓会東京支部こそ、郷里と都心の産業、文化、教育の疎通をはかる重要なポジションにあり、これ以上の効力を発揮できる組織はないと考えます。年代層も広く、都心で各界の有力者がいます。そして、秋田県の行政、産業の中心で、地元のために奔走している方々こそ、我々の同窓生なのです。今こそ、双方の強力をもって秋田の活性化を図りたいものです。

行政や大企業はあてにしてもなかなか...同窓会だからできる、小さなことからでも、行動に移していきたいと思います。(百瀬)

☆故郷・秋田と東京を結びつけるイベント

・「秋田の酒の会」+秋田の物産、スイーツ他を加えた総合企画を考える

・秋高連、県人会との共催企画とする(二木)

同窓会 だまり

昭和 18 年卒 18 会

一八年組は戦争中の過酷な時代に卒業しました。海軍兵学校に五人が入



学しましたが、佐藤儀一君、加藤俊夫君等が最近相次いで故人となられ残っているのが橋本一人となりました。一八年組は一昨年解散しましたが、東京一八会も解散し、現在有志が東京銀座に集まり志気を鼓舞しています。写真右端の笹原尚義君は寺町のお寺の次男坊で三人隣りは鎌田君で父君は秋田中学の国語の先生でした。中央の背の高いのが私で、国

鉄に入り秋田鉄道管理局の総務部長を四年務め秋工、秋中のラグビー部選手一〇人を国鉄に採用し国鉄ラグビー部会長としてカナダに遠征しました。隣りが伊藤護士で、隣りが小原君、高田君です。先に秋田一八組と二緒の東京合同会を開き四五人集まり帝国ホテルで大盛会でした。私のことを報告させていただきますと現在国鉄退職後「21世紀を考える会」を会長として主催してきて毎月第三水曜日に学士会館で後援会を三〇年間続けてきて居ります。講師としては既に読売新聞社の橋本五郎氏、秋高出身の佐々木菜穂子氏、来年は元東大総長の佐々木氏、国連の明石康氏、私の甥の三菱地所の元社長の高木茂氏等を予定しており、政治、経済、外交、文学、芸術、軍事等の一流の講師をお呼びする計画です。元中央大学総長の川添利幸も一八年組で会に参加しています。私も「昭和天皇と高松宮」のテーマで帝国ホテルや水交會館等で講演を続けています。

が英国駐在大使時代に駐在武官として仕え、戦後も首相官邸に呼ばれ可愛がられたようです。高松宮はミッドウエー敗戦後と硫黄島の玉砕後三回にわたり天皇に戦争の中止を申し出ていますが、詳細は東京の秋田高校の同窓会や秋田の同窓会に呼んでくだされば詳しく真相をご報告します。21世紀を考える会にご参加希望の方は東京の電話03-33392-2861でFAXも同じで、住所は郵便番号367-0051杉並区荻窪三二〇二七で、ご参加をお待ちしています。

昭和 31 年卒 31 会

春、小森幹事出身の五城目町が 9/17(木) 経済支援 10/20(火) 憲法改正 です。(橋本幸二郎)

私の家内は一八年組の小玉君のいとこで、故秋田高校同窓会長小玉孝次郎の娘ですが、孝次郎の妹が佐藤治三郎侍従武官の奥さんで、佐藤治三郎氏は大平山の事務部長戦後四〇年務め、私が秋鉄の総務部長時代四年間、戦前戦後の御前会議の真実を詳しくお聞きし、写真は戦艦武蔵上の天皇と高松宮と佐藤侍従武官が写っています。もう一つの写真は吉田茂



昭和 50 年卒 50 会

メールが結ぶ 同期の絆 私が昭和 50 年卒業生のメールイン

リタンポを食べる事から「東京三二会」の活動はスタートします。同期には秋田の在郷(?) 出身者も多く、秋高創立二三〇周年の折には、式典に参加する代表プラス一〇数名でふるさとを訪ねる旅をしました。途中角館駅から秋田組も加わり、今廢線の危機にある内陸線の溪谷の美しさを堪能、米内沢でアユを食べ、小坂の康楽館を見学、比内町で本場キリタンポを食し我町我村の自慢を聞かされました。上小阿仁村出身の小林宏農さんは、秋高時代からユニークな人でしたが、七〇歳で上小阿仁村村長となり時々話題を作って新聞に載ったりしています。入学した昭和二八年は創立八〇周年と一六年ぶりの甲子園出場で、学校は興奮きみでした。在校中二度甲子園に出場、クラスにもレギュラーが数名おり応援にも熱が入り、今でも大変仲の良い学年です。毎年二月の第三土曜日が総会の日で、会長町田(さとう)さん、幹事長渡辺(わたなべ)さん、佐男さんのもと三五名程が参加します。秋田料理の店で秋田料理を楽しみ同じ話で盛り上がるも、数年続くと店が閉まり銀座、根津、新橋とさ迷い落ち着きません。ゴルフ、囲碁の会はよく聞きますが、「卓球部」なる会が存在するのは三二会だけではないかと報告します。コーチは秋高卓球部で男子選手と一緒に猛練習、団体にも出場してライフワークにしている中田倫子さ

んです。部員は数名、中には早朝横浜方面から習志野の会場迄、練習後の達成感(二次会)を求めて元気です。文化面では二科展へ工藤健さんの彫刻を觀賞に、上野や六本木で知性を磨いたりもします。秋田の三二会からは「こっちが本家タド!」という声もあります。※最近集合写真を撮るのを忘れるようになりました。数年前の年齢不詳ですみません。(大本香津子)

等についても意見交換しています。
 今回、私がこのメーリングリストを紹介するにあたり、メンバーから寄せられた意見です。「メンバーが増えたり減ったりする中で、時には励まされたり、笑わされたり……オフミも頻繁に行われて、同期という繋がりの中で得ることも多かったような気もしますよね。」(青山佳子さんからのメール)

オフミとは、実際に会って大騒ぎ(?)する会のことです。東京・秋田でそれぞれ年に2〜3回開かれています。最近では、ワイン講師の原雄美子さんが中心となってワインを楽しむ会も開かれています。(写真添付)卒業しては35年。同じ学び舎に学んだというだけで、こんなに親しくなれる仲間がいる幸せを感じています。(渡邊桃伯子)

昭和 56 年卒
56 会

年の月日が流れていきました。これまでは、振り返る機会も無く、自分の事で精一杯の暮らしをしてきたように感じます。今春の会報にて、剣道部の後輩で東京同窓会幹事として奮闘してきた加藤和泉さんの計報を知り、東京同窓会をお尋ねするという機会がありました。その折、今年から副会長になっ

女2人の「企み」

早いもので、秋田高校を卒業して30



た佐々木菜穂子さん(56年卒)との再会がありました。個人では難しい事もまずは同期が集まれば心強い! まずは、56年卒同期の繋がりを深めることから始めよう!という事で、

女二人の企み・ネットワーク作りが始まりました。早速、佐々木さんが、秋田在住の同期に呼びかけ、東京支部会と秋田県内同期生との同期会(8/14 in 秋田)が実現しました。口コミの連絡にもかかわらず、30人余りの仲間が集まり、懐かしい話に花が咲き、同窓生の信頼は、揺るぎ無く、心の支えとなることを強く感じる会でした。まずは女二人の企みは大成功という訳です。

10月24日(土)秋高連共催「美しい秋田 秋祭り」にて、56年卒同期でも集まりました!是非ともご参加下さい。たくさんさんの「秋田のひと」との交流を楽しみましょう。

(百瀬 和(旧姓:三浦))



三浦航太君
 平成21年度卒



私は平成21年度卒三浦航太と申します。私は5月下旬秋高時代の友人3人と一緒に秋田活性化のための学生団体 A-LINE (Akita Leading Innovation of the Next Energy) を立ち上げ、活動しております。

私達の活動の根底にあるのが「やりたいからやる」と「秋田に対する危機感」です。「やりたいからやる」ということは、誰かに言われたからではなく、自ら進んで秋田の現状を知りたい、秋田のために活動したいという気持ちを第一に持っているということです。「秋田に対する危機感」とは、具体的には「若い人材が県外へ流出していることへの危機感」です。これは、首都圏で生活しながらも大学生のような若い人材こそもっと秋田県に対してに関心をもってもらいたい、ということの意味しています。まだまだ、私達は、秋田県の農業や商業、雇用等に対しては漠然とした危機感を持つだけであり、不勉強なまま強い危機感を持つべきではないと思います。その点で、若い人材の流出は、私達自身がそうであるからこそ危機感をもっているのです。今後、特に「人材」ということに着目し、秋田の高校生や中学生にもなにかしら動きかけていきたいと考えています。

9月に秋田県内でのFWを企画しました、秋田県から首都圏の大学に進学した大学生と、秋田の活性化に向けて様々な分野で活躍している地元の方々や県内の大学生、高校生との交流を通して、まず第一に大学生が秋田の現状を把握し、地元活性化の思いを実現するための第一歩を踏み出すことを目的としています。

徐々に具体的な方向性も見えてきており、多少不安もありますが、自分達に何が出来るのかを考えると非常に楽しみでもあります。

余談ですが、私はサークルでトライアスロンをやっています。swim, bike, run と3種目をこなします。日々の練習や合宿等非常にきついですが、大会で3種目やりきった達成感は非常に得難いものです。トライアスロンでも自分がどこまで進化できるのか、日々の鍛錬を続けていきたいですね。

**楽しい人生を
 過ごすために**

草野 剛君
 平成10年度卒

2年半のサラリーマン生活を捨ててから4年。南米諸国を転々としながらも、ようやくコロンビアの首都・ボゴタに落ち着いた。そして今年の3月に「Turismo con prop 耀 ito (目的ある観光)」というプロジェクトを立ち上げた。このプロジェクトの主な目的は、たくさんの方をコロンビアに連れて行って生きる喜びを再確認してもらおうというもの。

日本は自他共に認める経済大国であり、その規模は世界第2位を維持している。にもかかわらず自ら命を絶つ人は後を絶たず、年間3万人を越える。

一方、コロンビアを見てみると、GDPは世界第49位。第3世界各国共通の問題である政情不安と貧困に加え、沈静化したとはいえ麻薬・ゲリラ問題の火も燦々している。しかしながら2006年7月、イギリスのNEF(新経済基金)というシンクタンクがおこなった「Happy Planet Index (地球幸福度指数)」調査によると、コロンビアは世界第2位なのである(日本は95位)。なぜ世界第2位の経済大国・日本が自殺で苦しみ、さまざまな社会問題に苦しんでいるコロンビアが世界で2番目に幸せなのか……。プロジェクトを立ち上げたきっかけは、この矛盾にある。

一番の要因は「明るさ・陽気さ」。しかし、それはラテン人のイメージとして一般に語られているような「何とかなるさ」式の諦めに由来しているのではない。むしろ「何とかするんだ」という前向きな意気込みからくる陽気さなのである。その意識を支えているのが家族愛と友愛。友人と会うと、「やあ、アミーゴ草野。元気か?」という質問のあとに必ず私の両親の様子を聞いてくる。「最近話していないからわからないけど、元気なんじゃない?」などと日本式の答えをするとびっくりされるし、場合によっては怒られる。だから最近は、「元気だ。昨日話したよ」と言う。本当はEメールのやりとりしかしていないのだが、それでも毎日両親の様子わかるので、日本で暮らしていたときと比べたら飛躍的な進歩ではある。

4月に5人の日本人をコロンビアに連れて行った。彼らが人々との触れ合いの中で明るさを表に出し、笑いに包まれる様子を見て、「このプロジェクトを立ち上げてよかった」と思った。

このプロジェクトのほかにも、講演、通訳、日本語教師の仕事もある。最近は芸能プロダクションにも籍を置き、CM出演や演劇もこなしている。秋田高校在学中に培われた発想の自由と野武士精神。卒業後十年経ってからその芽が開き始めた。

秋高連総会

開催

7月22日(水)、アルカディア市谷(私学会館)において、秋高連全体総会が開催された。

秋高連：在京秋田県高等学校同窓会連合会は、秋田県内各高校の各同窓会・東京支部(東京同窓会など)の集まりで、現在50校近くが加盟し



ている。今回は、ご来賓を含め、40校、三七〇人の会員が参加した。

会場には各校の校旗が飾られ、18時開会、西木正明さん(S34年卒)による記念講演(演題：「秋田の地力を変革期に生かそう」)、「秋田県民歌」斉唱、主催者挨拶(友成穂秀会長)、ご来賓全員の紹介、ご来賓挨拶(石井周悦秋田県教育庁教育次長、大野忠右エ門秋田県議会議長)の後、乾杯(煙山力首都圏秋田県人会会長)、懇親会となった。懇親会の間も挨拶が続いたが、会は一気に最高潮に達した。終盤、参加同窓会メンバー全員の紹介、「ふるさと」合唱、万歳三唱で21時閉会となった。

- 参加者：橋本五郎会長、加藤日出男、西木正明、岩崎雅典、横山樹静、秋山文平、村山公士、大本香津子、大塚正民、浅野修、二木猛、宮腰良一、伊藤広文、畑山康幸、武内暁、石井周悦、鐘隆千代、田口清洋、佐々木菜穂子、百瀬和、鈴木忍、仁田原豊、三浦航太、大野省治。

(大野記)



けやき会だより

けやき会は秋田市内の11の高校同窓会と新屋郷土会の集まりです。7月12日の「秋田市制120周年記念」訪問で式典参加、市長表敬訪問、公立美術短大見学、蔵元「高清水」めぐりなどの2日間行事に武内、川口が一行15人のメンバーに合流、楽しい秋田市再発見でした。11月20日は「在京秋田市政情報交換会」(総会)が18時30分からアルカディア市谷で穂積志秋田市長さんや各界人や11の高校同窓生など200人参加の最大イベントがあります。秋高からは15名位の参加希望です。是非よろしくお願ひします(担当武内)



Information

2010 新春秋田高校賀詞交換会

1月30日(土) 午後 アルカディア市谷

会費納入者一覽 (21年度)

平成21年4月1日()
9月10日受付分

Table with columns for graduation year (昭 and 昭和) and names of members. The table lists members from 昭和27年 to 昭和51年 across multiple columns.

会費納入のお願い

本会の運営は、会員の皆さんからの会費によって支えられております。毎年度の会費の納入をよろしくお願い致します。このページには本年度の会費納入者を掲載しております。会費が未納の方は、是非本会報に郵便振込用紙を同封いたしましたので、年会費3,000円のお振込みをお願いいたします。また総会出欠ハガキ近況添えてどうぞ。今年度会費納入済みの方に、重複して振込用紙が同封されている場合は、申し訳ありませんが、破棄してください。郵便局の口座記号番号は次のとおりです。

00150 - 0 - 353596
「秋田高校東京同窓会」

Table with columns for graduation year (昭 and 昭和) and names of members. This table lists members from 平成17年 to 昭和51年.



ラグビー部今昔

校長の鈴木健次郎は文武両道を掲げ生徒に、汝何の為にそこにありやと問いかけ続けていました。

「年々歳々、変化あり」

東京同窓会の皆様、お元気にお過ごしのことと存じます。秋田は梅雨末期の雨が続いております。紫陽花だけが喜んでいようです。

母校・秋田高校はお蔭様で順調に発展を続けております。変わらぬ伝統と時代の要請に応じた変化がうまくかみ合っている現状です。

この数年来的な変化をあげれば、まず一学年の定員が三二五名(8クラス)、女子が約四割を占めるようになったことです。

また、教頭が二名から一名になり、平成二〇年度から副校長職が置かれました。

施設面では校舎の一部に耐震工事が施され、大体育館が改築(新築)

ラグビー部はその頃、秋高陸上部、北高陸上部とともに秋田大学グラウンドを借りていて、練習は疲れたら休憩を取るような和やかな雰囲気があった。漂っていました。

6月の或る日、優しい顔付きの先輩がグラウンドにやって来て火曜日と金曜日に練習を見に来ると告げました。

自己紹介に依ると明治大学ラグビー部のOBでした。皆に戦慄が走りました。

それからの火曜日と金曜日は悪夢と化しました。キサン(貴様)死んだ魚のようなその目はなんだ、目ん玉の皮引ん剥くまでやるぞ。入部し

中です。それに伴い、剣道場が曳屋で移動しました。結果、イベント広場が狭くなり、今年の秋高祭実行委員会は大分難儀したようでした。しかし、グラウンド・ファイナルは大体

育館前に会場を移して行われ、無事成功。打ち上げ花火も例年以上に盛

大でした。

その他、校史には残らないが案外重要な出来事の一つ。それは学食が三月で営業終了したこと。次に引き受ける業者もいなかったため、再開の可能性は少ないそうです。秋高だけでなく市内の各高校でも、同様のケースが多いとの事でした。購

たことを悔みました。

夏合宿の練習試合で市立高校に負けてタックル練習が待ち受けていました。何本やったのだろうか。それが終わると今度はゴール前の攻撃パターンを10本と言ったものでした。

10本は終りが無い事を告げているようなものです。それでも1本、again、2本、again、again、4本、5本まで辿り着いたと思うと逆戻りして4本、5本……賽の河原です。

その時、終りの無い練習に業を煮やした2年生が鬼コーチに殴りかかりました。

コーチは男盛りの30歳、しかも明治OB。勇気と決断が要ったことで

買の担当者に聞いたところ、学食終了後パン類の売上げはほとんど増えていないとの事でした。世間の不景気がこんな所にも影響を与えているのでしよう。

現在、生徒達は夏休みに入り、講座(補習)に部活に熱心に取り組ん

でいます。今春の大学進学は東京大学をはじめ難関大学・医学部への合格者が増え、大健闘でした。上辺の受験技術指導ではない、生徒の心に火をつける取り組みが徐々に成果を上げてきたように思われます。

またインターハイ等の全国大会に出場する生徒も多数おり、うぐいす

す。天変地異、遠い身内の不幸を待っていた私は正に天佑とばかりに喜びました。練習は中断しその後2、3本で終わりました。

そんなこともありましたが、その秋には秋田工業を決勝戦で破り翌年正月、初めて秋田高校は西奥羽代表として花園ラグビー場の土を踏んだのです。

花園では秋田の代表として無様な試合はしたくない一心でした。初出場ではありましたが準決勝に駒を進めたのでした。

件の人は、後に生徒会長、一ツ橋、ハーバード、新日鐵副社長、進藤孝生。(昭和44年卒 尾形 均)

坂の下には、激励の看板が設置されています。詳しくは「同窓会だより」第85号をご覧ください。生徒諸君の健闘を祈りたいと思います。

以上、母校の現状をかいつまんで報告しました。

東京同窓会の皆様、秋田に來られた際は、ぜひ母校・同窓会館にもお立ち寄りください。(七月末記す)



幹事会便り

秋田高校東京同窓会の会報は、今号より「天上はるかに」を呼称とすることに決まりました。年2回発行を目指しますので是非ご愛読下さい。

ちょうど歴史的な選挙の季節のせいでしょうか、それとも小泉改革によって地方の問題が浮きぼりになったせいでしょうか、「故郷秋田のために何かやりたい!何かできるのではないか!」という同窓生の声があるなどところから寄せられてきております。

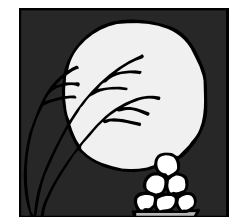
現役大学生のグループ、文化人・言論関係者の集い、ビジネスマンによるビジネスの提案、定年を過ぎた熟年者の方たちの試み……等々。

我々東京同窓会としては取りあえず秋田の他の高校同窓会とも協力して「美(おい)しい秋田」秋まつり(10/24)を盛り上げていこう、ということになりました。

今後ともさまざまな機会に同窓生の皆様の積極的なご提案や企画を期待します。

なお幹事会は奇数月の第2金曜日の夕方行なっております。どなたでも事前ご一報のうえご参加下さい。

幹事長 一木 猛



母校インフォメーション

同窓会本部事務局長仙波照彦(昭38卒)

同窓会本部事務局長仙波照彦(昭38卒)です。今春の大学進学は東京大学をはじめ難関大学・医学部への合格者が増え、大健闘でした。上辺の受験技術指導ではない、生徒の心に火をつける取り組みが徐々に成果を上げてきたように思われます。

またインターハイ等の全国大会に出場する生徒も多数おり、うぐいす